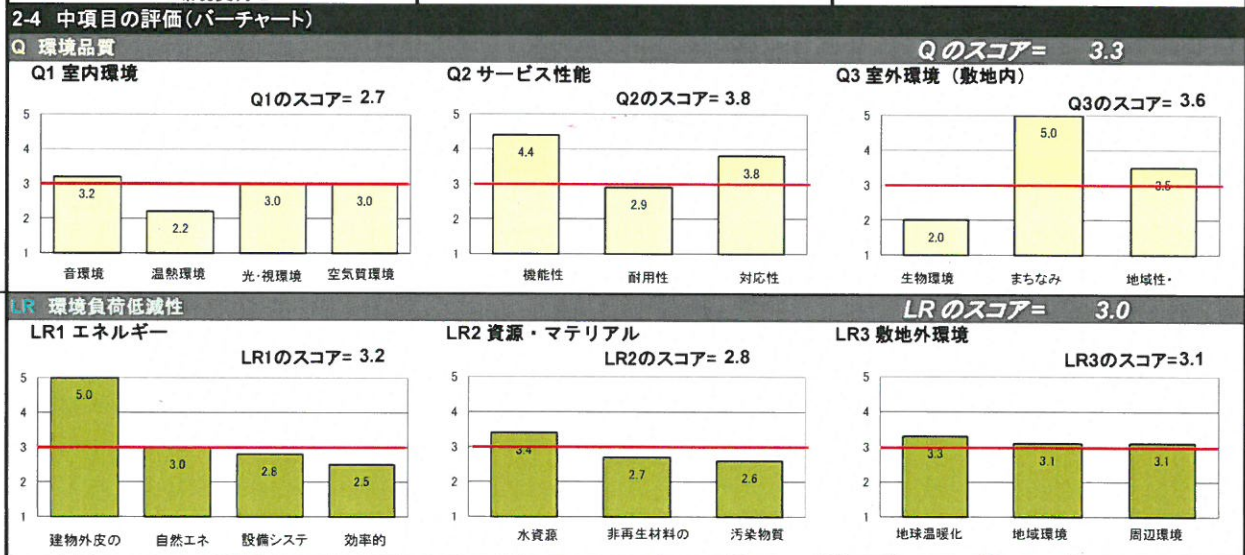
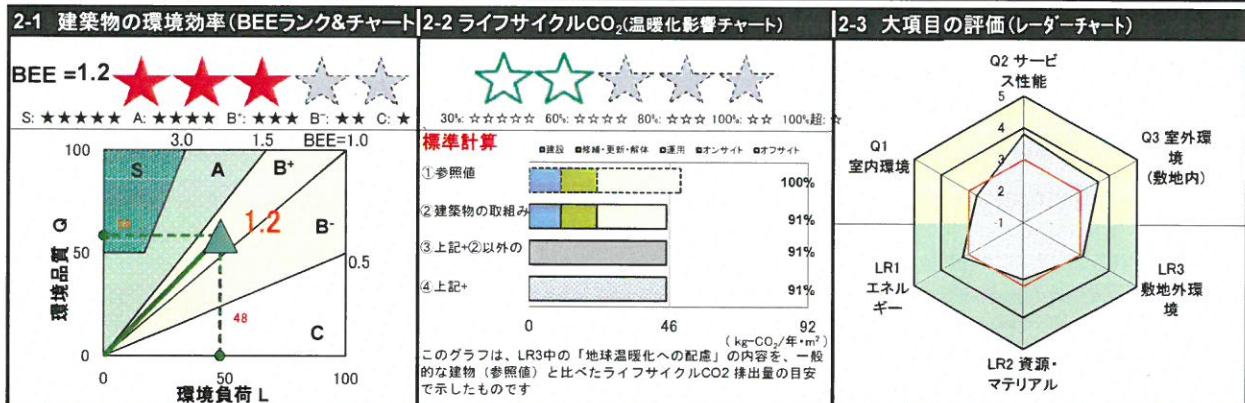


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	鳥取敬愛高等学校	階数	地上3F
建設地	鳥取県鳥取市西町1-111	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、商業地域	平均居住人員	300 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,150 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年4月 予定	評価の実施日	2017年3月2日
敷地面積	5,064 m ²	作成者	荒井博之
建築面積	2,246 m ²	確認日	
延床面積	3,735 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 本事業は新校舎を増築するにあたり、校舎の充実を図り、地球環境・周辺環境に配慮した計画としている。ランニングコスト及びライフサイクルコストを十分に考慮した設備計画とすることで、標準的な高等学校の校舎に対し、地球環境に貢献する省エネ建築物を目指している。		その他
Q1 室内環境 室内環境の汚染防汚に配慮し、F☆☆☆☆の建築材料を採用している。	Q2 サービス性能 最低階高4.10m以上、教室の天井高さ2.70~2.90m確保し、ゆとりある計画とした。校舎内の清掃性を考慮し、各階に清掃スペースを確保。廃棄物庫・ごみの分別庫などを配置し、維持管理のしやすい施設とした。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の暑熱環境を緩和する為に、高木を中心に設ける計画とした。国道及び市道の歩道幅員を広げる為、敷地内空地を設け、遊歩道とする計画とし、地域の安全性に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー 全館LED照明を採用し、人感センサーによる点滅、高効率空調を採用した。	LR2 資源・マテリアル 節水コマ及び、省水型機器を採用し、節水に努める。	LR3 敷地外環境 常時利用としての適切な駐車台数・駐輪場の確保及び、ハートフル駐車場を整備した。来校者多数時には、今回整備の校庭を開放し、臨時駐車場利用が可能な計画とし、周辺への影響に配慮した。駐車場への導入には、交差点より距離を取り計画。渋滞の緩和及び交通安全に寄

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される